

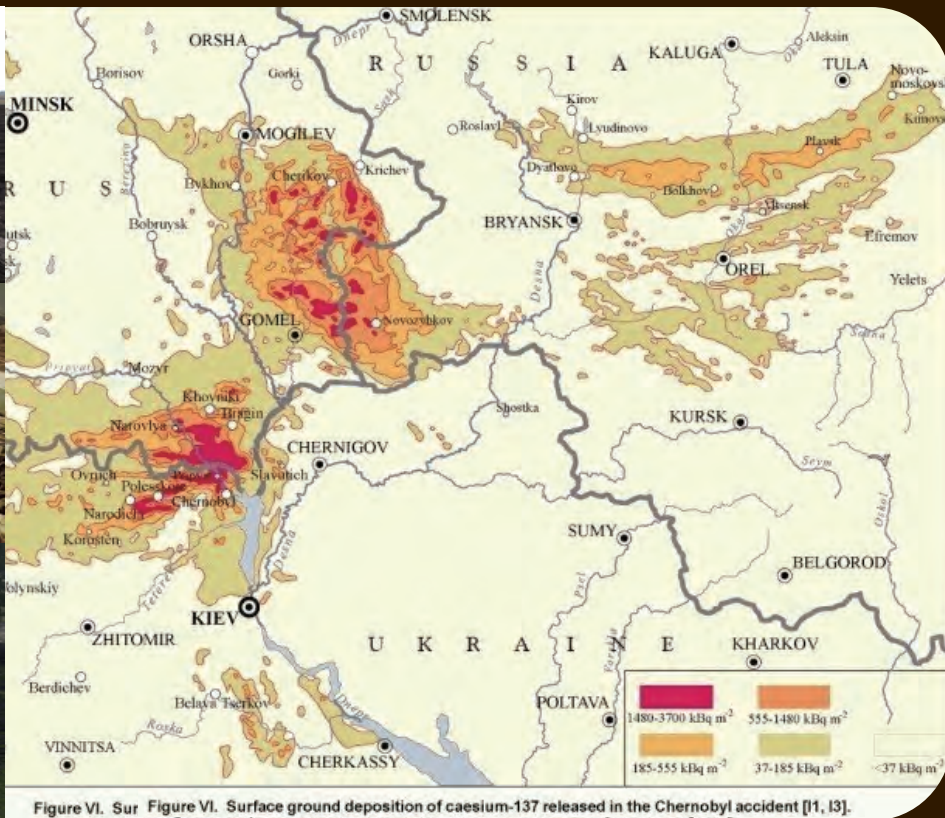
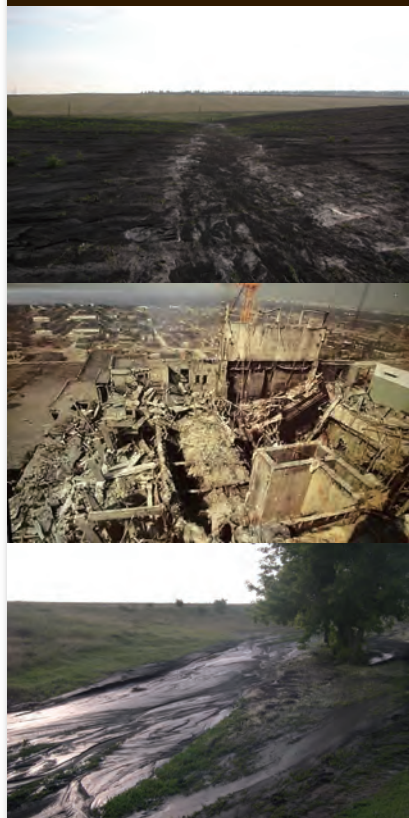


プレ戦略イニシアティブ (研究拠点提案型) H23~H25

ALL TSUKUBA NETWORK

for Catchment Water Environment Study Focusing on Natural Symbiosis and Sustainability

オールつくばの連携による持続可能な流域圏水環境研究拠点



チェルノブイリ事故後の Cs-137 の再移動：ロシアの事例

ロシア平原のチェルノブイリ原発事故による汚染レベルが異なる地域において、事故直後の Cs-137 降下の特徴を明らかにした。主に、地表に降下した Cs-137 が、河川システムのなかでどのように再移動するかということに主眼を置いて分析を行った。ロシア平原の様々な場所での耕作地斜面と小流域における Cs-137 の再移動の調査結果を示し、また、チェルノブイリ由来の Cs-137 による生態系への短期・中期・そして長期的な影響についての考察をおこなう。



Dr. Valentin GOLOSOV

Principal scientific researcher

Laboratory for Soil Erosion and Fluvial Processes,
Faculty of Geography, Lomonosov Moscow State University

日時：2月22日（水）16:00~17:30

場所：総合研究棟 A-107

お問合せ

生命環境系教授 恩田裕一 ☎ 029-853-4226

講演後、懇親会を予定しております。皆様のご来場をお待ちしております。

第5回プレ戦略イニシアティブ オールつくばネットワークセミナー